

JPCA ニュース



公益社団法人 日本ペストコントロール協会
2024年9月版

会長・副会長・専務理事・委員長の活動方針・抱負について お知らせいたします！

このJPCAニュースは、公益社団法人日本ペストコントロール協会(JPCA)の活動概要をお知らせする媒体です。
各概要の詳細につきましては、JPCAまでお問い合わせください。

TOPICS

1. 会長・副会長・専務理事・委員長の活動方針、抱負

- ・山口 会長
- ・酒井 副会長 兼 総務委員長
- ・布施 副会長 兼 広報委員長
- ・曾谷 副会長 兼 国際委員長
- ・星野 専務理事
- ・谷川 技術委員長
- ・大場 次世代事業検討委員長
- ・安居院 感染症対策委員長

2. JPCA 主要行事予定

1. 会長・副会長・専務理事・委員長の活動方針、抱負



会長 山口 健次郎

近年、インターネットで展開される広告等により、事業者の責任所在が不明なトラブルが多発しています。営業・集客に特化したサイトの迅速・格安という広告に誘導された消費者が被害に遭うケースが多く、とりわけ若者や高齢者を中心に被害が拡大しており、国民生活センターから当協会に被害防止の協力要請も届いています。信用はサービス業の根幹であり、全国的なペストコントロール業界団体の公益法人として、都道府県協会と協調して速やかに適切な対応をすべきと考えて取り組んでおります。併せて、市民を守る為の啓発活動にも協調して当たります。

ペストコントロール業の役割として、災害時対応・ヒトの感染症はもとより、鳥インフルエンザや豚熱等の家畜における感染症防疫についても、更なる充実が求められていることから、本年2月に公益社団法人日本しろあり対策協会と「緊急災害時防疫業務支援に関する協定」を締結しました。災害や感染症対応は突発的なことが多く、緊急時のリソース不足を補う意味合いを含めた締結ですが、今後は更に関係を深め、我が国の環境衛生・生活衛生保持増進の分野でも協力体制を構築していきたいと考えています。

また、当協会ではペストコントロール業界の社会的地位の確立や、事業環境の良化に取り組んでおります。業界50年来の懸案事項でありました業種の確立について、2024年4月に「日本標準産業分類」にペストコントロール業が新設されたことにより、業種名を必要とする様々な分野において、ペストコントロール業界の地位が確立していくこととなります。そして、残された大きな課題「日本標準職業分類」へのペストコントロールの職業名の新設、将来の許認可事業への第一歩となる公的資格の創設にも取り組みます。

DX・働き方改革など、社会的変革にも対応する新しいペストコントロール業のビジネスモデルの構築など検討課題は多くあります。少子化、温暖化、物価の高騰、賃金の上昇、社会保障制度の変革、そして労働力不足など、今まで業界とは無縁と思われていた社会の大きな変動にも自分事として対応していかなければ、現代では業界ごとに取り残されてしまいます。執行部で力を合わせ、全ての事象に備えていけるよう、取り組んでいきます。

引き続き、宜しくお願い申し上げます。

【活動目標】

- ◆ 各委員会の分掌事項遂行のための活動を更に支援する。
- ◆ 業務執行理事として掲げた目標の実現に取り組む。
 - ・2026年に改正される「日本標準職業分類」へのペストコントロールの職業名の新設
 - ・「空家対策特別措置法」における公衆衛生の担い手としてのペストコントロール業の明確な位置付け
 - ・新設される省庁横断的な「内閣感染症危機管理総括庁」が所管する感染対策業務の担い手としてのペストコントロール業の明確な位置付け
 - ・「公的資格の創設」を一步前進させ、ペストコントロール業が許認可事業となるための検討
 - ・定款の修正も視野に入れた運用規約の見直しの検討



副会長・総務委員長 酒井 壮司

この度、副会長並びに総務委員長を拝命いたしました酒井です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まずは、協会運営においてすべての場面で会長を補佐するとともに協会の目的や目標達成に力を注ぎます。特に重要な意思決定の実行において積極的に関与し、サポートしてまいります。また、副会長並びに総務委員長として、リーダーシップを発揮し、会員が社会の中で存在価値を高めて意義のある協会としていきたいです。そして、各委員会が効果的に連携していき、協力し合える環境づくりを目指していく中で、会員相互の向上や友好関係の構築を目指したいと考えます。

今後の協会発展を考えると、会員増強や新規事業の開拓、既存事業の強化に伴って、社会への存在価値を高めることを実行していくことは必要不可欠で、あらゆる情報やコミュニケーションをとる中で協会発展に尽力していく所存です。

関係省庁や行政機関、関連団体とは、更に連携を強化して、情報交換や陳情などを積極的に行い、協会の存在価値を高めるとともに関連団体とのパートナーシップを構築していきます。

現在当協会を取り巻く様々な環境により、協会が担う役割は非常に大きな存在になっている中で、協会の立ち位置や地区協会との連携、会員に対する協会運営や事業の理解促進、事業推進による国民への社会的な信頼とブランド価値を向上させてまいります。

最後に、将来の協会を担う次世代のリーダーを育成できる研修や環境づくりを行っていく中で、社会環境に応じたチャレンジをしていき、会員の声を積極的に収集し、運営や活動に反映させていければと思います。



副会長・広報委員長 布施 正典

この度、副会長と広報委員会委員長を仰せつかりました布施でございます。

山口会長のもと、長年の懸案事項でありました業種の確立が実現しました。次にはペストコントロール従事者という職名の新設と、公的資格の創設や更には未知の感染症対応等、まだまだいろいろありますが、理事の方々をはじめ会員の皆様と一緒にペストコントロール業界を盛り上げて行く所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会においては、ペストコントロールの周知活動、会員向け広報活動に取り組んでまいります。機関誌では、人材育成や後継者問題等の記事の充実化を図るとともに、働き方改革など社会環境の変化に対応する情報伝達も行ってまいります。



副会長・国際委員長 曾谷 久嗣

本年5月23日の総会において理事にご承認をいただきました。また会長からは副会長にも、ご指名いただきました。

自分は、この業界で施工を主に36年にもなります。今まで培ってきた経験と実績をフルに活用し活動方針に取り込んで行き、この協会が一步一步前進して行くよう努力いたしてまいります。

そして2022年に行われましたFAOPMA-Pest Summit 京都大会より国際委員会に属することになり、今期から国際委員会委員長を仰せつかることになりました。京都大会では近畿地区本部長といたしまして、近畿地区全体での応援をいただき、皆様と一丸となり大きな大会が達成出来ました。この経験も今後の国際委員会で応用して行きたいと思っております。これからも皆様の御指導・ご鞭撻にお力をお借りして頑張りたいと考えております。

宜しくお願い申し上げます。



専務理事 星野 真

令和6年5月23日に開催されました令和6年度定時総会におきまして、理事として再任いただき、更に専務理事に任命いただきました。

前任者から業務を引き継いでから1年間にわたり、各理事のご意見や体験したことなどを伺い、私の国家公務員時代に経験してきたことを生かしながら協会の今後の方向性について、会長、副会長に提案をさせていただきました。

これからの2年間は、会長が示された目標達成のために各理事の意見を聞き、事務局職員が過度の負担とならないような業務実施に配慮し、関係省庁、関係団体とは緊密に、顧問の国会議員とは強固な関係にしたいと考えます。

当業界の認知度の向上は必須であり、協会会員が公的な資格取得となるような仕組みづくりや、公共性の高い事業と社会的に認められるための行動を積極的に進めていきたいと考えています。

最後に、全会員まで情報の提供がされていない現状もあると聞きます。情報の共有はとても重要事項なため解決するための方策や、すべての会員が高い目的意識をもち、社会的地位の向上が実現した際の日本協会の未来像を議論するため、皆様、積極的な提案をお願いしたいと思います。



技術委員長 谷川 力

所属会員の防除技術の向上を目的として、有害生物の発生状況の変化に即した具体的防除施工のための企画立案から、それに沿ったマニュアルの作成等の事業を適宜に行う。その中には IPM 小委員会による建築物における維持管理の標準的目標水準の再検討の問題等も含まれている。また、各種技術講習会開催による普及・啓発等の広報活動ならびに技術者認証制度の推進による社会的認知度向上につとめている。加えて関係省庁や研究機関との緊密な連携を図りつつ、業界の将来を見据えた活動として、ヒアリ等の特定外来生物の侵入・定着防止対策を含む外来有害生物対策関連への対応、厚生労働省等の保健衛生関連科学研究事業等に関する研究協力を実施する。小委員会等にかかわる定例事業としては、防除技術研修会、害虫防除業中央協議会、ペストコントロール技術者認証補講関連、ペストコントロール技術者・通信教育関連、研究図書頒布の継続等の活動がある。さらに、多くの問題・目的を共有する感染症対策委員会と連携をとりながら、会員の皆様方の役に立つ情報を収集し配信したい。そのためには協会内だけでなく、産官学との横のつながりも強めていきたい。



次世代事業委員長 大場 修一

当委員会は創設されて5年目に入りました。前身の次世代 PC 事業検討会での課題と現状の課題を検討し提案や改善等に取り組んで来ましたが、とても満足いく成果とは言えません。少しでも成果を上げられるよう引き続き取り組んでいきます。

今後の目標としては、未来会を将来的に青年部又は青年会に昇格させたい。現行の理事会や委員会の内容を会員が分かるよう、また会員の意見等を吸上げられるような体制にして行きたいと思えます。



感染症対策委員長 安居院 宣昭

近年の人や家畜の新興・再興感染症や自然災害の頻発が極めて大きな社会問題となっています。このような状況の変化を踏まえて、2023年4月、当協会のさらなる感染症対策事業強化を目指して感染症対策委員会が設置されました。当委員会は、技術委員会が対応してきた定例的な感染症対策講習会の企画・開催ならびに既刊の各種感染症対応マニュアルや感染症関連刊行物等の管理・整備等の事業を引き継いで行います。設置後2年目の本年からは、委員会活動の新たな方向性を定めての具体的事業として、PCO事業者が適切に消毒作業を行うための標準的作業手順を定め、手順の各項目に対応する具体的実施事項マニュアルの整備・作成に入ります。加えて、各県協会感染症予防衛生隊ならびに全国所属会員に向けて、ホットな感染症関連情報の発信による活動支援、さらに当協会各委員会との連携により関係行政機関による防疫支援要請時の活動支援にも関わっていきます。全国協会会員の皆様方の公衆衛生・生活衛生保全のための感染症対策事業活動に何が重要かを常に意識して、当委員会の活動を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

2. JPCA 主要行事予定

◆令和6年度

- 10月 1日(火)～11月30日(土) 防除技術研修会・感染症対策講習会(動画配信)
- 10月 4日(金) 防除作業従事者研修会指導者講習会(害虫防除業中央協議会主催:ライブ配信)
- 10月 22日(火)～25日(金) ペストワールド(NPMA) デンバー大会 ※
- 11月 12日(火) 理事会(ハイブリッド)
- 12月 3日(火)～4日(水) 第40回日本ペストロジ学会 群馬大会 ※
- 1月 8日(水)～1月23日(木) ペストコントロール技能師新規認証講習:eラーニング
- 1月 8日(水)～1月23日(木) ペストコントロールI級技術者更新時講習:eラーニング
- 1月 16日(木) 新年賀詞交歓会、理事会(グランドヒル市ヶ谷)
- 2月 6日(木)～7日(金) 第57回ペストコントロールフォーラム 高知大会(高知市)
- 2月 14日(金) ペストコントロール技能師新認証講習会実技講習及び考査(大阪)
- 2月 21日(金) 未来のペストコントロールをつくる会(東京)
- 2月 26日(水) ペストコントロール技能師新認証講習会実技講習及び考査(愛知)
- 3月 3日(月) 理事会(ハイブリッド)
- 3月 4日(火) ペストコントロール技能師新認証講習会実技講習及び考査(宮城)
- 3月 17日(月) ペストコントロール技能師新認証講習会実技講習及び考査(東京)

◆令和7年度

- 5月 27日(火) 第54回定時総会、運営協議会(愛知県名古屋市)
- 5月 28日(水) 都道府県協会長会議(愛知県名古屋市)

- ・※印については、JPCA主催の事業ではありません。(協賛・関連団体他)
- ・予定は都合により変更される場合があります。